

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和 8 年 4 ～ 6 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町 3 丁目 1 0 1 延岡駅西口街区ビル 3 階

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	58事業所
3. 回答率	46.4%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	4事業所
卸売業	3事業所
小売業	23事業所
サービス業	19事業所
合 計	58事業所

5. 実施時期

令和8年 7月上旬～8月下旬

6. 調査対象期間

令和8年 4月から6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売 上：（増加）－（減少）

採 算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従 業 員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業 況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

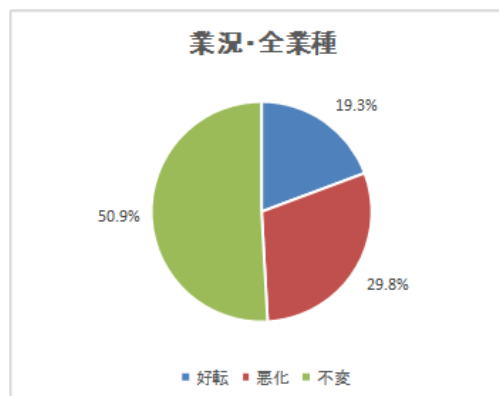
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ．概況

1．全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和7年1月～3月）のDI値は▲10.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は19.3%、
悪化したと回答した事業所が29.8%、
変わらないと回答した事業所50.9%だった。



令和7年4～6月の前年同期比について、売上の増減に関わらず、仕入価格の高騰について懸念される声が多い。価格転嫁を行い、売上は上がっているように見えるが経費が多くかかるようになり、採算は悪化したという声も上がっている。また、資金繰りが悪化しているという回答もある。

	R7. 4～6 前年同期比	R8. 1～3 前期比	R8. 7～9 見通し
全業種	▲10.3	▲8.6	0.0
製造業	▲11.1	▲22.2	▲11.1
建設業	0.0	▲25.0	75.0
卸売業	0.0	66.7	66.7
小売業	▲13.0	▲13.0	▲17.4
サービス業	▲10.5	▲5.3	0.0

来期見通し（令和8年7～9月）の全業種DI値については、0.0ポイント。

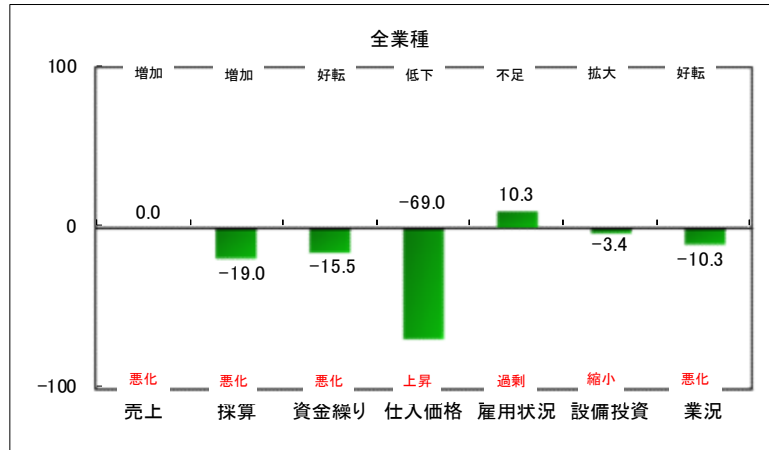
各業種別に見ると製造業、小売業は、悪化の見込み。

各業種で、仕入価格高騰・人件費の上昇・人手不足が変わらず、見通しが立たないことへの不安を吐露している。また、中東情勢が長引くことにより、材料仕入れ（石油関連製品）の先行きが不透明と回答する事業所もある。前期調査より、DI値は改善しつつあるが、資金繰りに不安を抱えている声もある。

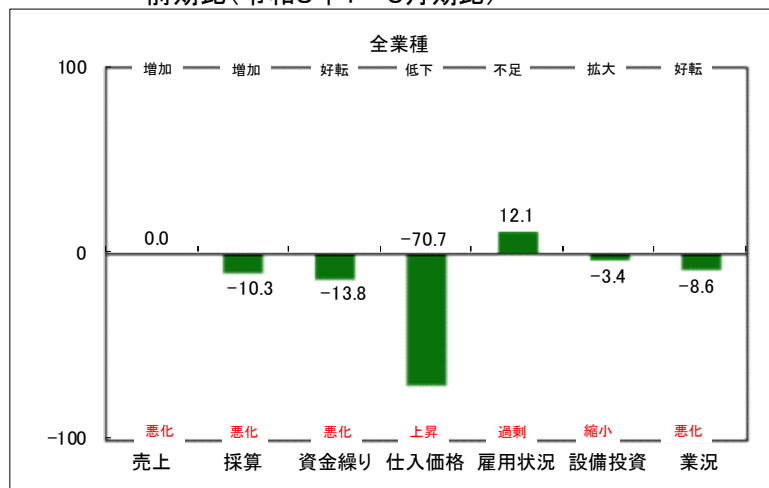
市内景気動向

全業種

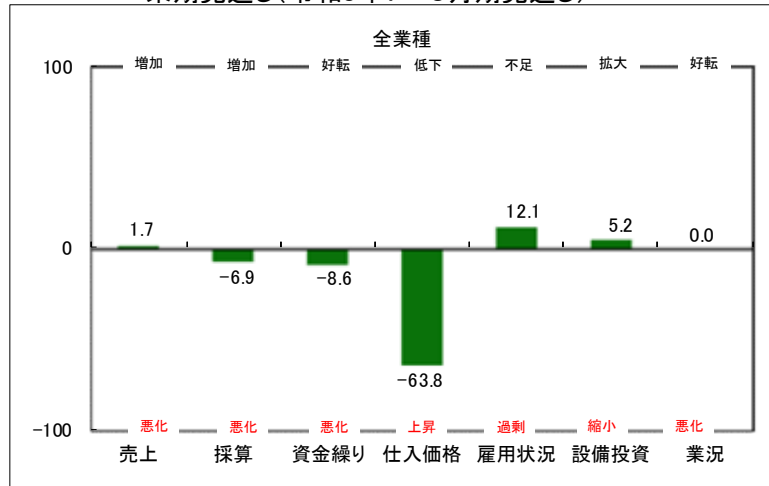
前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



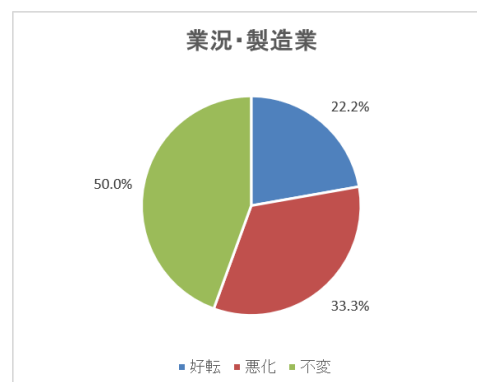
来期見通し(令和8年7～9月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲11.1ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、22.2%、
悪化したと回答した事業所が33.3%、
変わらないと回答した事業所が50.0%だった。



来期見通しD I 値については▲11.1ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【水産加工業】

- ・「漁獲量が全く無くかなり厳しい状況にある。現在、商品開発を行っている。」

【鉄鋼業】

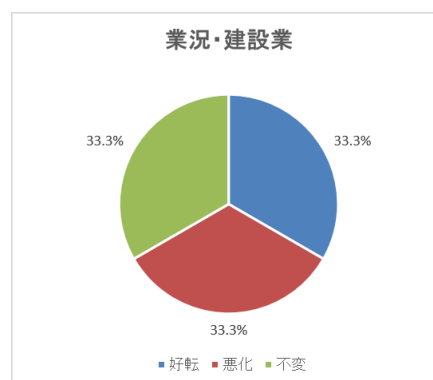
- ・「新規取引先の受注が好調」

【食品製造業】

- ・「仕入価格は上昇している。価格転嫁を行い売上の確保をしている。また、売上・採算を上げるため、設備投資を行っていく。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値00.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は33.3%だった。



来期見通しのD I 値は、75.0ポイントで、好転の見通しとなっている。

○主な意見

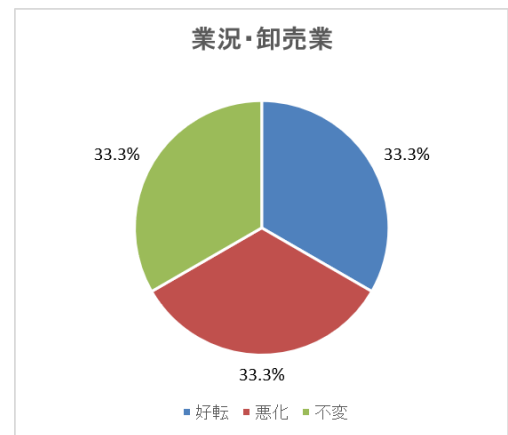
【一般土木事業】

- ・「仕入価格上昇・人件費上昇などの状況を打破する為に、設備投資を行った。」
- ・「不安しかない。建築関係も土木でも減少続きな気がするので出張業務を増やしていくことも考える」
- ・「新規工事を受注予定。」

卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33. 3%、
悪化したと回答した事業所が33. 3%、
変わらないと回答した事業所が33. 3%
だった。

来期の見通しD I 値は66. 7ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【その他の食料・飲料卸売業】

- ・「物価高により販売価格を上げているが、利益が上がっている訳ではない」

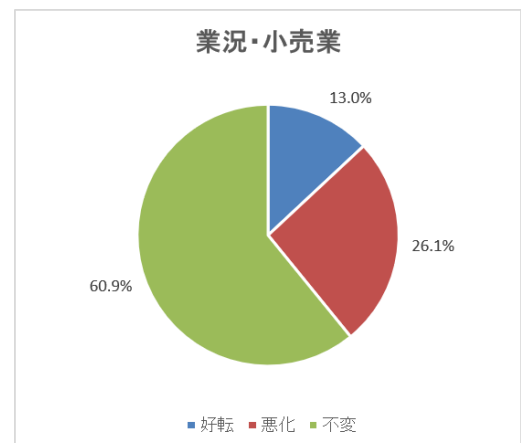
【建材卸売】

- ・「資材の高騰。住宅着工件数減少。見通しが予想できません。」

③ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲13. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は13. 0%、
悪化したと回答した事業所は26. 1%、
変わらないと回答した事業所は60. 9%だった。

来期の見通しD I 値は、▲17. 4ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【スポーツウェア、シューズ小売業】

- ・「今のところ石油問題は当店にはまだ影響はない。ただ、石油関連製品の入荷が滞れば分からないところです。」

【飲食店】

- ・「鮮魚（カンパチ・マダイ等）・酒類の高騰。商品工夫で価格転嫁はしないようにしている」

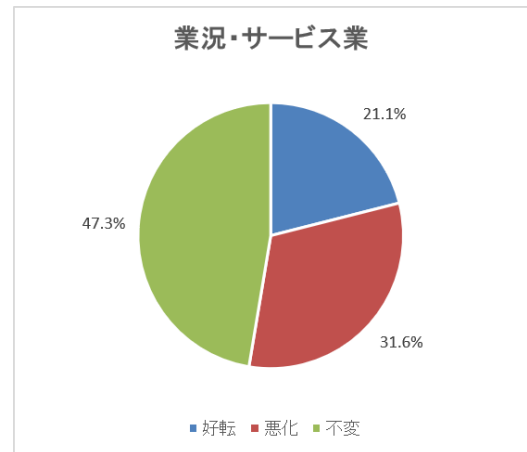
【家電製品小売】

- ・「2027 年問題のよるエアコン需要により売上好調」

④ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲10.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は21.1%、
悪化したと回答した事業所は31.6%、
変わらないと回答した事業所は47.3%だった。

来期見通しD I 値は、0.0ポイントの
見通しとなっている。



○主な意見

【自動車整備業】

- ・「仕入価格等の高騰により見通しは暗い。」

【エステ業】

- ・「雇用拡大を予定している為、それに伴い売上増の見込み。」

【専門サービス業】

- ・「前年度よりは知名度や紹介も多くなり売上向上につながっている」

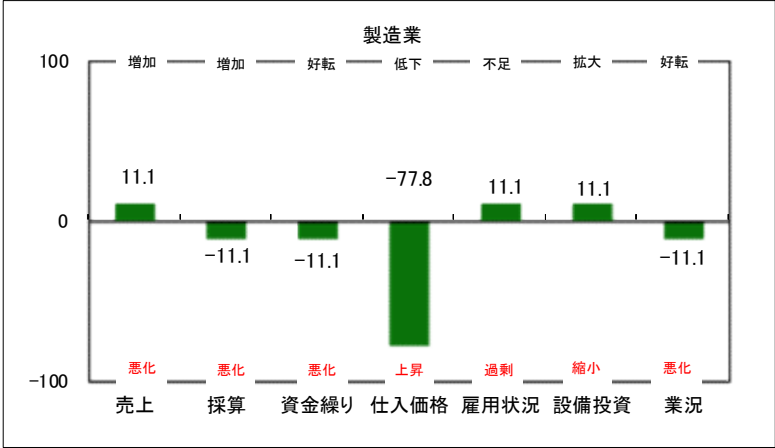
【美容業】

- ・「6月の売上が落ちるが、その分7月の売上が良いのと新規客が増えるので期待はしているが、すごく良くなるとは思えない。」

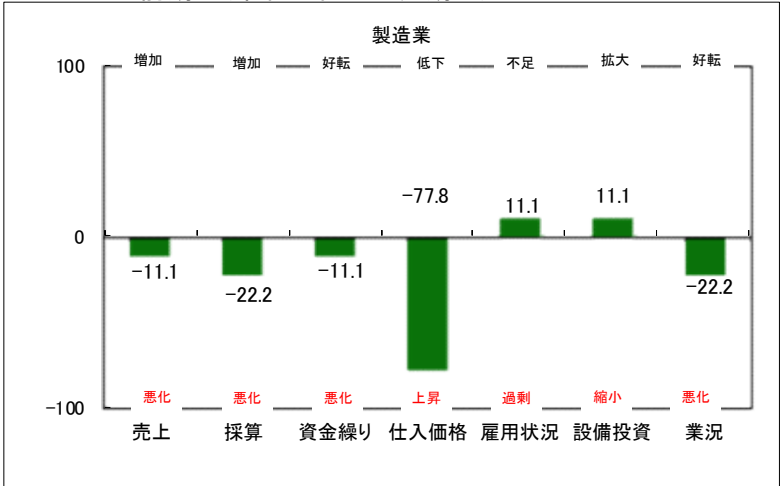
業種別景気動向

製造業

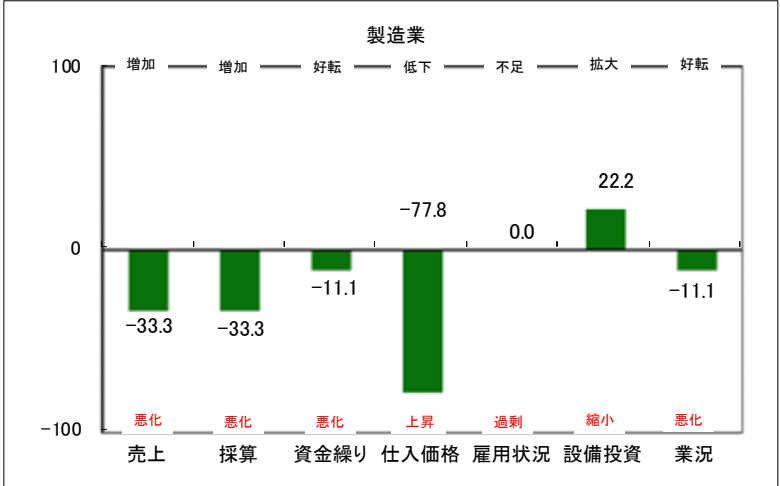
前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



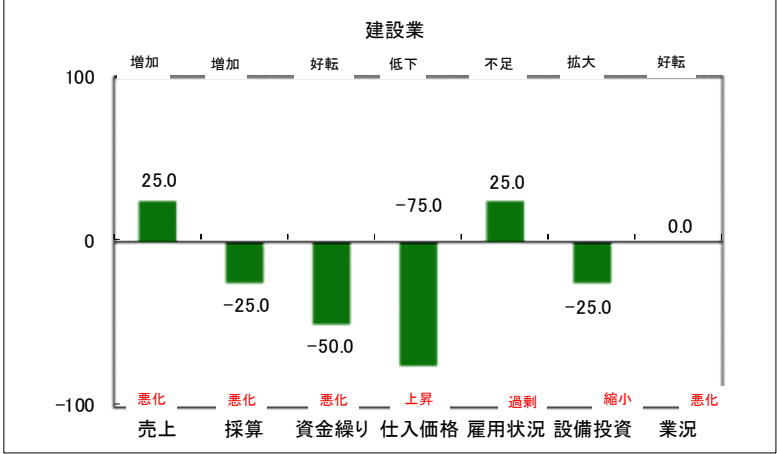
来期見通し(令和8年7～9月期見通し)



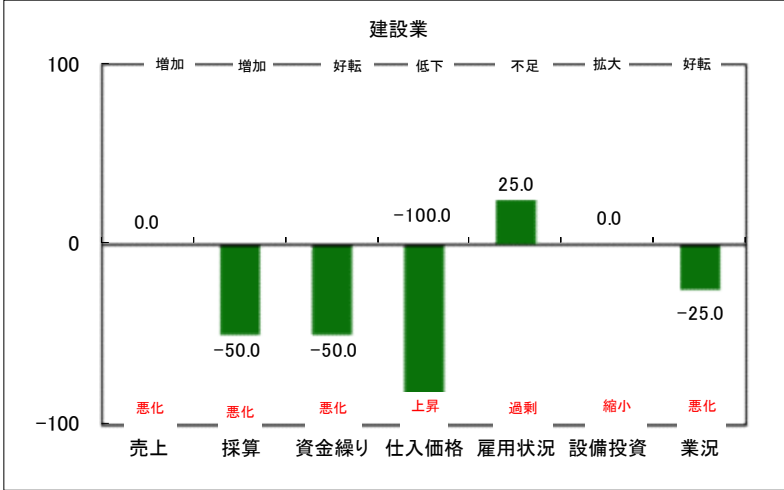
業種別景気動向

建設業

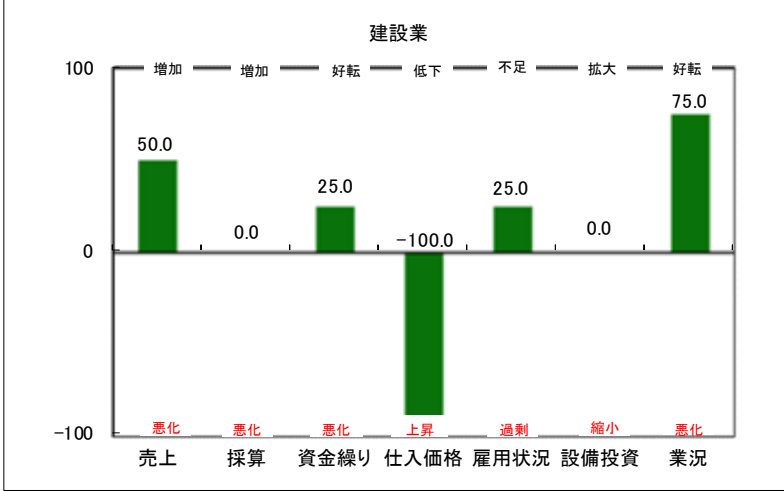
前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



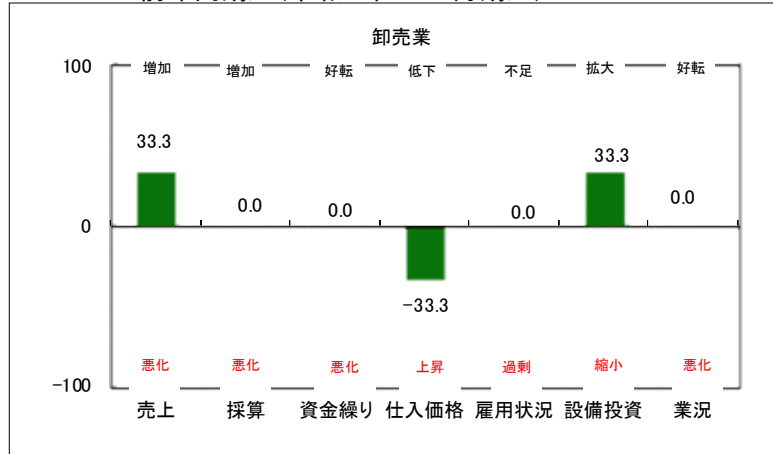
来期見通し(令和8年7～9月期見通し)



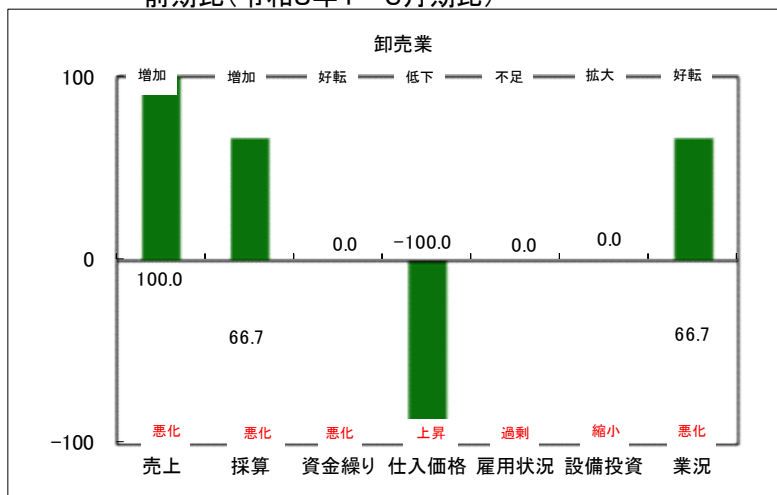
業種別景気動向

卸売業

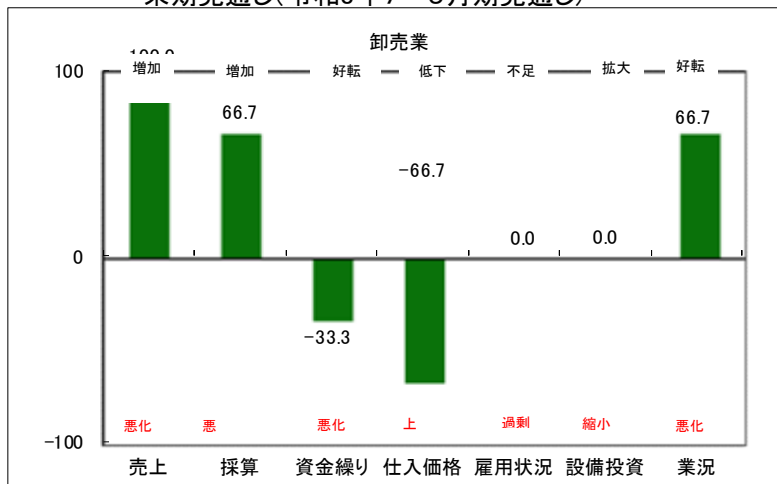
前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



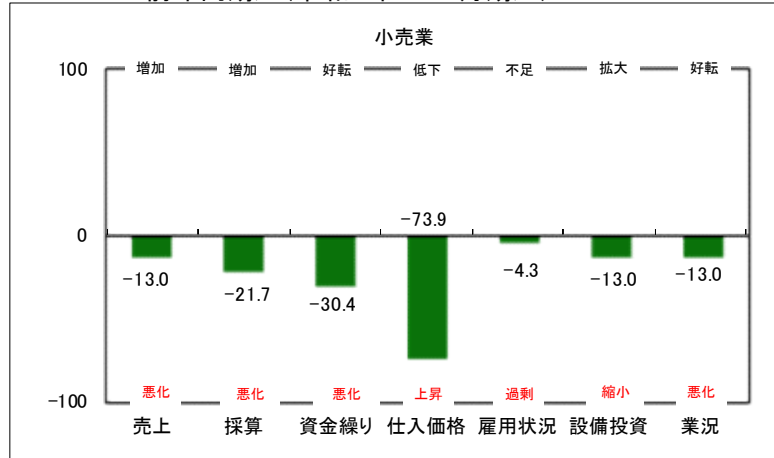
来期見通し(令和8年7～9月期見通し)



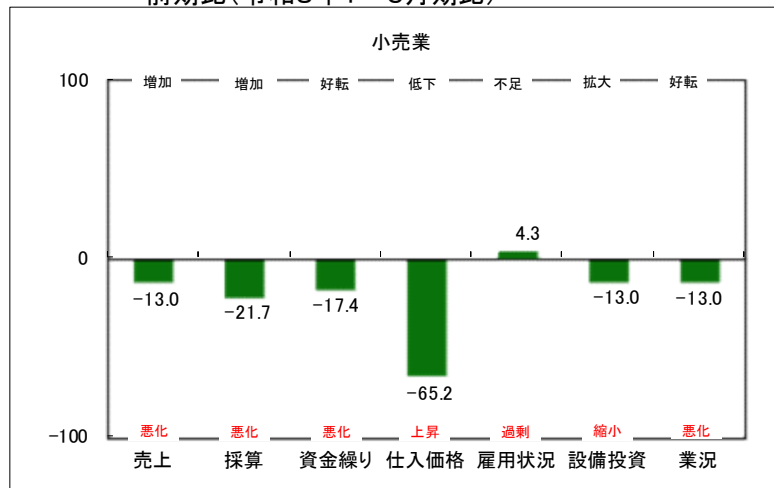
業種別景気動向

小売業

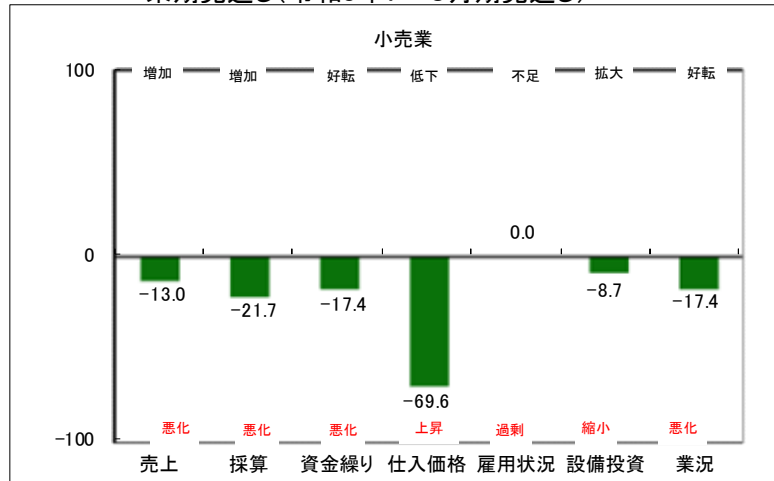
前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



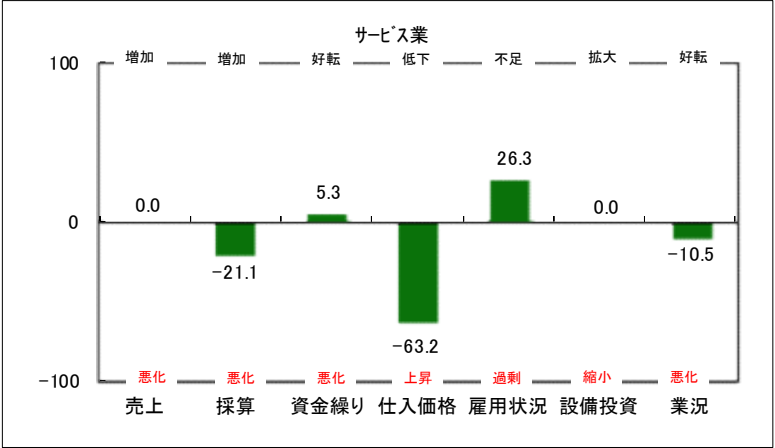
来期見通し(令和8年7～9月期見通し)



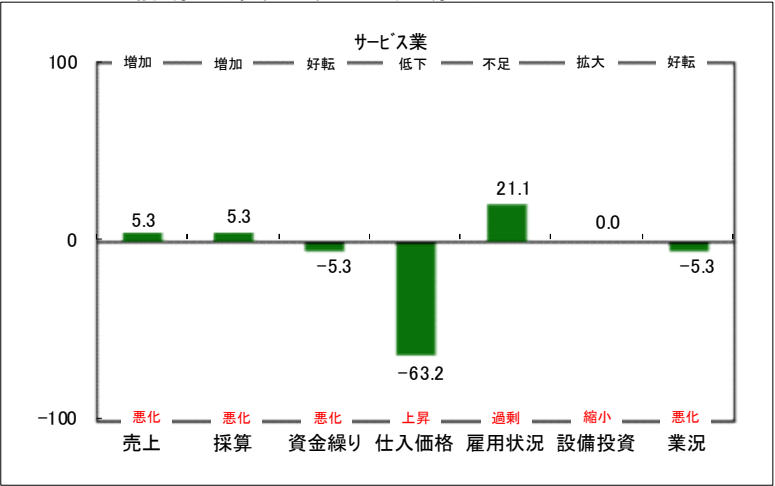
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和7年4～6月期比)



前期比(令和8年1～3月期比)



来期見通し(令和8年7～9月期見通し)

